

ecoS通信

2008
11月
vol.186

全国オイルリサイクル協同組合経営研修会に参加しました

とき：10月7日～8日、場所：岡山市、参加者：55名

**環境開発工業株式会社佐々木次長様の力強い事例
発表がありました。**



環境と福祉ってどうつながるのか？
答えのひとつがみえたような気がした。

福祉の人たちが環境のために貢献するのです

21世紀は、「福祉と環境との融合を目指す時代」と捉えられます。環境福祉学会副会長（前環境事務次官）炭谷茂先生の講演を拝聴するまで、環境と福祉のつながりがぴんときませんでした。現在、環境や福祉の担い手は、別々に活動している場合が多く、法律や制度なども別々に策定されています。しかし、最近、環境と福祉の一体的な取り組みが行われています。

これを事業レベルとして考えた場合、環境開発工業株式会社様の取り組みが大変参考になりました。総勢100人強のしょうがいのある方がリサイクル事業に携わっておられるのです。コピー機の分解・分別を通し再資源化に寄与されているのです。「しょうがいのある方を迎え入れる場合、彼らの能力を信じて自立させるという発想で福祉側も取り組まなければ、真の自立支援にはならない」という言葉が印象的でした。

私たちの会社においては、来春、出雲養護学校卒業予定の藤原くんの入社が内定しています。彼は、アルバイト時に石原社員の指導により、廃油タンクの再生を手がけ、今では驚くほどの上達ぶりです。ゆくゆくは溶接の免許を取得したいと意気込んでいます。私たちも彼に大いに期待するところです。（長野）

企業が環境に与える影響とその責任、しょうがいのある方の本当の意味での自立を、お互いが理解し合って取り組むことで、企業の戦力として勤めることが出来るのだと感じました。この取り組みはまだ始まったばかりで、様々な問題点があるようです。しかし、企業が社会的責任を果たす上では克服しなければならぬ課題であると思います。（安原）

環境開発工業様は、コンサルタントを入れて、しょうがい者の方、企業との3者で何回も話し合いをされたところに成功の鍵があるのではないかと。これからの企業の在り方として必要なことだと思った。（木村）

お客様の「困った」は？

パネルディスカッション

“地域社会に支持され、ユーザーに選ばれる企業をめざして”
コーディネーター：当社 安原部長



お客様が何を思っておられるのか、何を感じておられるのか、お客様の「困った」を素直に聴き、問題を解決する。我々に問題があれば、直ぐに改善した後、お客様を訪問し「困った」が解決できたか確認をしなければなりません。その繰り返しをする事で、お客様との信頼関係が構築され、結果【お客様から選ばれる企業】になります。これからは、お客様訪問を増やし、たくさんの「困った」を聞き取りするところから始めます。（松下）

繁盛店訪問

有限会社 丸和運輸 様

〒690-0061 鳥根県安来市中津町10

TEL0854-22-1686 FAX 0854-23-2583

創業は



代表取締役
大和博見様

「山陰興業が以前、タンクローリーの横転事故を起こしたとき、朝暗いうちからレッカー車で引き上げに行きましたよ。2台のクレーンを使っただけの作業だったが、ワイヤーが切れてたいへんだった。」

大和社長様は、以前、個人で車両を4~5台所有し、鳥根県境港市から東京へ鮮魚の運搬をしておられました。しかし、漁獲量の減少により、かつて勤務していた大手宅配会社の幹線輸送を引き受けることになりました。このとき、営業ナンバーを取得され、今年が23期です。7~8年前から少しずつ増車し、今では10t車50台、4t車3台、軽四輪車4台になりました。業務エリアは、東は、東京、名古屋、関西から、西は九州の福岡県です。その他に、レッカー事業もあり、レッカー車を4台保有しておられます。(長野)

安全優良事業所(Gマーク)の認定を受けました

社内規定により、主だった部品(ターボチャージャー、クラッチ、ダイナモなど)を走行距離に応じて交換していき、路上でトラブルがないように予防整備します。

また、2003年5月、ISO9001の認証を取得。品質方針は、『安全、丁寧、迅速なよりよいサービスを提供し、顧客満足の向上を目指します』となっております。常に輸送品質の向上を目指しています。

毎月1回班長を集めてミーティング。8月には全員集合し、安全大会を開催しました。無事故、無違反、無故障の表彰制度を設け、優良ドライバーを表彰しています。また、デジタルタコグラフを全車に装着しています。一車一車データを分析し、運転手の安全運転指導を行っています。

また、宅配会社の幹線輸送のため、定期便で走っており、予定をあらかじめ組むことができます。それにより、ドライバーも生活スタイルを修正できます。そのため、無理をしない輸送ができ、

安全につながっていると思います。平成18年度に



11月下旬から、順次車両の冬タイヤへの交換が始まります。大型車は12本もタイヤがあるから大仕事です。ボルトを締めるとき、最後はトルクレンチで締めます。走行中にタイヤが脱落し、大事故につながる恐れがありますから。写真左より 車両整備部の松本様、竹内様、運行管理部長の杉井様。

お客様からの信頼は、
「予防整備」にあり

は、安全優良事業所(Gマーク)の認定を受けました。

経費節減

昨秋、エコドライブ講習会を開催しました。ドライバー全員が受講できるよう、3回に分けて実施しました。それにより、意識が高揚し、5~10%燃費が改善されました。

また、昨年、車両整備場を併設した新社屋が完成。3月に認証工場として認可を受けました。2人の整備士により自前で車両整備ができるようになり、これも経費削減に貢献しています。

(杉井運行管理部長様談)

杉井様は、車両整備の意識が非常に高く、確実な点検により社員の安全を守り、それが確実な輸送へとつながり、お客様の信頼を得ていると確信します。(長野)



安全運転で、行ってらっしゃい

笑顔で見送りされる、安部様、中沢様(写真左より)



大型車が並んださまは壮観です。

お客様からの寄稿

環境を守るために...

小さな気づきから発展させていく

自分で出来ることから

今、環境問題が盛んに問われています。

環境破壊を進めないために自分で出来る事。ゴミの減量、可能な限りリサイクルする、資源の無駄遣いをしないなど、煩雑に耳にします。

私が勤めている会社でも環境を守るための取り組みをしています。日常業務にプラスの活動となり、慣れないことで四苦八苦しています。解らない事ばかりで、周囲の方に教えていただきながら進めています。初めの頃は「何でこんな大変なこと...。暇じゃないんだから...。」と思いつつ渋々でした。

でも、自分のためなんですよ。大きなことはできません。自分の身の回りの小さなことからです。例えば、ゴミとして捨てる前にもう一度見直してください。再資源化できるものであれば、できるだけ面倒だと思わずに仕分けして資源の回収に出しましょう。

気づいた一つのことを改善・実行する。その次に気づいたこともう一つの事を。また次も。

そうしてゆくうちに、少しずつ自分の周りがよくなってゆきます。継続していくことで習慣になります。私の気付いたこと、それは自分で出来ることのためのはじめの一步。自分自身の考え・気持ちを変えること。「大変・面倒・やらなければ楽」そんな自分自身の気持ち・考えを少しでも減らしていけたら...。いいかな。

最後に山陰興業株式会社の担当者様には、現在進行形でいろいろと教えていただき、サポートしていただいております。とても感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

(島根日野自動車株式会社鳥取支店 若林様)

廃棄物担当者様にはいつもご配慮いただき、ありがとうございます。マニフェストの管理等、特に気を遣っていただいております。私たちも資源の有効利用を進めてまいります。これからもよろしくをお願いします。(鳥取地区担当：吾郷)



若林様

10月の安全講習

私たちの会社は、毎年10月に移動タンク貯蔵所(以下、タンクローリー)点検を行っています。今月の安全講習にて、河上5Sリーダーの指導のもと、自分の担当するタンクローリーについてそれぞれの社員が点検を行いました。消火器の腐食等がみられましたので、すぐに措置します。

移動タンク貯蔵所に携行する書類として次のようなものがあります。(危険物関係書類)

完成検査済証

製造所等定期点検記録表(年1回点検3年保存)

移動タンク貯蔵所点検表(年1回点検3年保存)

移動貯蔵タンク定期点検実施結果報告書(10年間保存)

上記の書類は、いつでも確認できるように、ファイルしておきましょう。



消防設備士が消火器を点検しています。



フロントパネルを開けて、オイル等の点検をします。

改善活動

“ためます”を作りました



工場の防油堤内の低いところに水がたまって、作業に支障をきたしていました。床面が汚くなるし、滑る危険があるからです。このたび、その低い場所に“ためます”を設置して頂きました。これにより、水がその中に収まるので、水の中を歩くこともなく、安全に作業できます。また、他の床面を汚すこともありません。常にきれいな状態を保っていれば、油漏れ等が起こったとき、すぐに発生源を特定することができ、対策も立てることが出来ます。これからも工場の5S活動を進めていきます。

(伊達山)



第20回本社一斉清掃の実施

平成20年10月25日

目線を変えれば

構内の松の木の枝が市道に伸び、通行するトラックを運転する方々の視界を遮っているようです。車両等の通行の妨げにならないよう、市道にはみ出している枝を伐採しました。車高の低い普通車の運転者の目線では気がつきませんでした。河上5Sリーダーの気づきに参加者もなるほど。

今回は、楠田顧問も参加していただきました。周囲がきれいになると、構内の汚さが目立ちます。廃棄物も整理されてきました。どんどん片付けていきましょう。

(長野)



『妻のために生きる』を読んで

10月の指定図書

高齢の夫が妻の介護を続けておられる夫婦のことがたまに報道される。

塩崎さんの様に、夫が奥さんを介護する事態になり自宅で面倒を見るとは、相当な深い愛情と精神力がないと、到底長い月日続けていけるものではないと思えるのだが。

今、私も寝たきりの母親と姑の介護を時々手伝いに行っているが、実際、身体を起こしたり、下の世話、食事の世話など負担のほとんどは主に義姉で、子供を育てる母親のように出来るのは女の方でないと思える。

しかし、夫婦のどちらが先に倒れるか分からない塩崎さんの事態もあり得るのだから、世のご主人方もこのことを肝に命じてほしいものだ。男にも出来るんですよ。

もし、そんな事態になったら、長年苦楽を共に分かち合った相手だもの深い愛情を持って介護してくれたら、妻の方もきっと幸せな気持ちになり夫への感謝の気持ちでいっぱいになるだろう。(井上)



「大空を自由に飛びたい」

ヒロボー株式会社視察



視察参加の木村社員と桑本社員

10月21日、松江地区危険物保安協会の先進地視察で、広島県府中市のヒロボー株式会社を訪問しました。今回はこの会社のヒロボーライブファクトリーを見学させていただきました。

ここでは、ホビー用と産業用ラジコンヘリコプターを製造していました。工場内はとても明るく、従業員の方も楽しんで仕事をされていました。ヒロボーは元々紡績会社でしたが、先代創業者の「大空を自由に飛びたいという夢」から業種転換した会社です。ヘリコプター分野においては、紡績で培った緻密な技術を生かし、世界のトップシェアを持つ会社に成長しています。また、産業用ラジコンヘリコプター分野を開拓し、高圧線監視、災害用空撮、農薬散布(大社町の松食い虫空中散布等)などで活用されています。

独自で開発された安全装置を幾重にも装備し、事故災害をゼロにすることを日夜研究されているそうです。(木村)

自分で、リモコン操作でラジコンヘリを飛行させたら、どんなにか気持ちいいでしょう!!

(桑本)

人との出会いも偶然の機会によって、もたらされることとが多々あります。何かしらその人から引き出して自分の成長の糧にしていききたい。そして、自分も他人により刺激を与えられるようになりたいと思います。(長野)

元氣の出る言葉
偶然の機会で聞かされたことが、
自分の一生の大きな守りになることがあるんだぜ
中村天風師
――「君に成功を贈る」より 日本経営合理化協会刊



ムラサキカタバミ。雑草ですがとても可憐な花を咲かせます。

自分を高める今月の一冊
日本でいちばん大切にしたい会社

11月の指定図書

坂本光司著 あさ出版



《会社は経営者や株主のものではありません。その大小にかかわらず、従業員やその家族、顧客や地域社会など、その企業に直接かわるすべての人々のものなのです。(P18)》

経営理念の大切さ 私がこの会社をスタートさせたのは、30年以上前、故小村恒一郎氏から「この会社をやって欲しい」のひと言からでした。それまでひとりの土木作業員であった私に、経営のなんたるかなど判るはずもなく、そのまま経営者の道に入りました。

その後社員の皆が次々と新しいお客さまをつくってくれて、以来30年お客さまのくり返しが起き、今の基盤ができたのです

好運にも小野さん(*1)と知り合い、人生の、経営の師匠を持ちなさいと教えられました。そのあと牟田學先生(*2)から、会社がお客さまから強く必要とされるための経営理念を、学ばせてもらう大きいご縁に恵まれました。そのあと、私や社員達に、会社の正しい成長、発展の道を教えてくださる人たちとの大切なご縁に恵まれています。

これからこの地方の地盤沈下が急速に始まるからこそ、このご縁ある人たちの力をもっと活用し、もっとお客さまとこの地域の繁栄、そして私を信じてくれている社員の皆さんの幸せのために、この会社が役に立って行きたい。

(山根)

*1小野さん：サマンサジャパン株式会社社長 小野英輔様

蔵書新着情報

- | | | |
|-----------------|-------------|-------|
| ・『島根の弁護士 4,5』 | 香川まさひと | 集英社 |
| ・『日経トレンディ11月号』 | | 日経BP社 |
| ・『覚悟のすすめ』 | 金本知憲 | 角川書店 |
| ・『はじめて学ぶJW-CAD』 | エクснаレッジムック | |
| ・『かわいそうなぞう』 | つちやゆきお | 金の星社 |
| ・『水を燃やす技術』 | 倉田大嗣 | 三和書籍 |



その実、まもなく新そばを食べることができそうです。(奥出雲町)

発行日：毎月10日
発行：690-0025 島根県松江市八幡町796-20
TEL 0852-37-2470
FAX 0852-37-2472
山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野
E-mail :h.nagano@e-skk.co.jp

ホームページ公開中(<http://www.e-skk.co.jp>)

原稿を公募します

本誌の原稿を公募します。800字～1000字程度で、環境をテーマにしたものを希望します。薄謝ですが、原稿料を支払います。締め切りは、今月末です。編集部あて、どんどんお寄せ下さい。

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で1名様に賞品を差し上げます。今回の賞品は、松江名産“津田かぶ漬け”です。締切は11月末です。奮ってご応募ください。

Q：松江市八束町で生産される牡丹の原産国はどこでしょう？



先月号の答えは「全国7位」でした。抽選の結果、境港市田中さまが当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

編集後記

9月29日からNHK連続テレビ小説“だんだん”が始まりました。島根県が連続テレビ小説の主たる舞台になるのは今回が初めてです。

ヒロインは、産まれてすぐに離れ離れになってしまった18歳の双子の姉妹。何よりも歌うことが大好きな松江の高校生と、芸の道に打ち込む京都の舞妓。そんな二人が、日本一の縁結びの神様・出雲大社で運命的な再会を果たし、姉妹の絆を深めながら、デュエット歌手としてスター街道を駆け上がります。

松江市は、松江城の築城開始四百年にあたり、今年から五年間「松江開府四百年祭」も開かれています。“だんだん”では、おかしな出雲弁が気になりますが、全国の視聴者に島根県を認知していただくチャンスです。もっともっと観光客が増えるに違いありません。国際文化観光都市として遺跡等の資源の有効活用、新たな観光スポットの開発や交通アクセスの整備を切に願っています。(長野)